



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月8日

上場会社名 ジェコー株式会社
 コード番号 7768 URL <http://www.jeco.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営管理部長
 四半期報告書提出予定日 2019年11月11日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 杉浦 さとし
 (氏名) 葛巻 貞行
 TEL 048-556-7111
 配当支払開始予定日 2019年12月4日

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	12,753	2.4	2		49	88.4	27	88.6
2019年3月期第2四半期	13,072	14.3	366	130.4	430	121.5	237	60.8

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 5百万円 (%) 2019年3月期第2四半期 309百万円 (53.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	16.26	
2019年3月期第2四半期	142.27	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	20,527	14,669	71.5
2019年3月期	20,898	14,758	70.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 14,669百万円 2019年3月期 14,758百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		50.00		50.00	100.00
2020年3月期		30.00			
2020年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

現時点で2020年3月期の期末配当予想額は未定であります。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,000	5.3	100	84.4	150	78.1	120	74.1	72.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2019年11月8日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	1,675,805 株	2019年3月期	1,675,805 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	9,242 株	2019年3月期	9,242 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	1,666,563 株	2019年3月期2Q	1,666,643 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
2. 当社の配当につきましては、安定した利益配分を目指し、業績及び将来の事業展開を勘案して実施していきたいと考えております。しかしながら、経営環境の先行きが依然不透明であるため、当期の期末配当につきましては、現時点で未定とし、今後の業績動向を勘案した上でご提案させていただきます。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第2四半期連結累計期間における売上高は12,753百万円（前年同四半期比2.4%減）となりました。損益につきましては、各種製品において原価低減活動を推進しておりますが、センサ系製品である安全運転支援部品の急激な販売量増加に対応するための先行投資による費用が膨らんだことなどが収益を圧迫し、営業損失2百万円（前年同四半期は営業利益366百万円）となりました。また、経常利益は、固定資産売却益の計上を行ったことなどにより49百万円（前年同四半期比88.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は27百万円（前年同四半期比88.6%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①日本

既存車種のモデルチェンジや客先生産台数の減少により自動車時計などの表示系製品は減少しましたが、センサ系製品である安全運転支援部品の急激な販売量増加により、外部顧客に対する売上高は11,708百万円（前年同四半期比4.8%増）となりました。損益につきましては、売上増加による操業度益があったものの、安全運転支援部品関連設備の先行投資による償却費増や、当該部品の生産体制拡大に伴う労務費や品質コストが増大したことなどにより、セグメント損失は66百万円（前年同四半期はセグメント利益231百万円）となりました。

②アジア

既存車種のモデルチェンジ等による自動車時計の販売量減少が主な要因となり、外部顧客に対する売上高は1,045百万円（前年同四半期比45.1%減）となりました。損益につきましては、売上減少による操業度損により、セグメント利益は46百万円（前年同四半期比59.5%減）となりました。

(2) 財政状態の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、設備投資による有形固定資産の増加等があったものの、関係会社預け金や売上債権が減少したことなどにより前連結会計年度末に比べ370百万円減少し、20,527百万円となりました。

負債は、主に仕入債務の減少等により、前連結会計年度末に比べ281百万円減少し、5,857百万円となりました。

純資産は、四半期純利益を計上したものの、配当金の支払いや為替換算調整勘定の減少等により、前連結会計年度末に比べ88百万円減少し、14,669百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期までの連結業績を踏まえ、通期の業績予想を修正しております。詳細は本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	929,686	867,305
受取手形及び売掛金	4,062,733	3,656,613
商品及び製品	358,046	341,695
仕掛品	431,157	468,777
原材料及び貯蔵品	1,698,555	1,656,205
関係会社預け金	4,769,169	4,343,616
その他	106,032	46,626
流動資産合計	12,355,381	11,380,840
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,762,351	1,745,772
機械装置及び運搬具（純額）	3,497,740	3,712,456
その他（純額）	1,982,205	2,273,826
有形固定資産合計	7,242,297	7,732,055
無形固定資産	64,998	111,462
投資その他の資産	1,235,340	1,302,860
固定資産合計	8,542,636	9,146,378
資産合計	20,898,018	20,527,218
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,290,259	2,034,687
未払法人税等	40,388	47,913
引当金	47,844	32,838
その他	2,194,060	2,098,638
流動負債合計	4,572,553	4,214,078
固定負債		
役員退職慰労引当金	60,670	103,000
退職給付に係る負債	1,381,800	1,396,295
資産除去債務	123,344	124,656
その他	1,050	19,561
固定負債合計	1,566,865	1,643,513
負債合計	6,139,419	5,857,592

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,563,777	1,563,777
資本剰余金	2,198,186	2,198,186
利益剰余金	10,677,507	10,621,293
自己株式	△37,661	△37,661
株主資本合計	14,401,810	14,345,595
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	217,605	225,591
為替換算調整勘定	15,491	△16,090
退職給付に係る調整累計額	123,692	114,528
その他の包括利益累計額合計	356,788	324,030
純資産合計	14,758,599	14,669,625
負債純資産合計	20,898,018	20,527,218

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	13,072,439	12,753,718
売上原価	11,918,180	11,995,081
売上総利益	1,154,259	758,636
販売費及び一般管理費	787,639	760,731
営業利益又は営業損失(△)	366,620	△2,094
営業外収益		
受取利息	779	847
受取配当金	12,524	8,311
固定資産売却益	54,620	59,161
作業くず売却益	5,287	3,835
為替差益	5,154	—
その他	7,393	8,633
営業外収益合計	85,760	80,790
営業外費用		
支払利息	—	859
固定資産廃棄損	14,788	5,124
固定資産売却損	792	458
減価償却費	782	3,138
為替差損	—	14,454
その他	5,482	4,702
営業外費用合計	21,845	28,736
経常利益	430,535	49,958
特別損失		
減損損失	105	—
関係会社整理損	57,641	—
特別損失合計	57,746	—
税金等調整前四半期純利益	372,788	49,958
法人税、住民税及び事業税	75,308	58,514
法人税等調整額	67,102	△35,669
法人税等合計	142,411	22,845
四半期純利益	230,377	27,113
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△6,742	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	237,120	27,113

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	230,377	27,113
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,143	7,986
為替換算調整勘定	75,160	△31,581
退職給付に係る調整額	△3,604	△9,163
その他の包括利益合計	78,699	△32,758
四半期包括利益	309,076	△5,645
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	322,825	△5,645
非支配株主に係る四半期包括利益	△13,748	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（IFRS第16号「リース」の適用）

在外連結子会社において、第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」を適用しております。本会計基準の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。これにより、原則として借手としてのすべてのリースを連結貸借対照表の有形固定資産「その他」、流動負債「その他」および固定負債「その他」に計上しております。

なお、この変更による連結損益計算書に与える影響は軽微であります。